

日本パーソナリティ心理学会第93回常任理事会議事録

日時：2009年9月19日(土) 13:00~16:00

場所：東洋大学

出席：杉山、松田、小塩、北村、荒川、藤田、浮谷、渡邊、中村、首藤

大会主催校：寺崎

事務局：加藤

欠席：佐藤、川野、有光、菅原

報告事項

各種委員会報告

1 機関誌編集委員会

(1)「パーソナリティ研究」第18巻第1号

第18巻第1号は10論文を掲載し、会員への発送を完了した(第17巻第1号と比較して約3ヶ月早い)。

掲載番号	審査番号	種別	題目	筆頭者	受稿	受理
18-1-1	A-186E	原著	青年期における自己憐憫の構造~自己憐憫尺度作成の試み	佐藤純	2008.4.8	2009.1.28
18-1-2	A-195E	原著	青年期における不快情動との直面を促進する要因に関する検討	福森崇貴	2008.8.11	2009.4.15
18-1-3	B-43E	資料	抑うつ的反すうに関するポジティブな信念の確信度と抑うつ的反すう傾向との関連性	長谷川晃	2008.7.15	2009.1.13
18-1-4	B-A-188E	資料	パーソナリティ、日常的出来事と主観的幸福感との関連	門田昌子	2008.5.1	2009.1.16
18-1-5	B-A-178	資料	自我体験とパーソナリティ特性・孤独感との関係ー「私はなぜ私なのか」と問う取り組み方による違い	天谷祐子	2008.2.7	2009.3.13
18-1-6	S-138E	ショートレポート	2種類の自己愛と自尊心、対人不安との関係	落合萌子	2008.10.3	2009.1.16
18-1-7	S-127E	ショートレポート	対人場面におけるあいまいさへの非寛容と情報処理スタイルおよび精神的健康の関連性について	友野隆成	2008.4.8	2009.1.17
18-1-8	S-142E	ショートレポート	ネガティブな反すうと自己評価的感情および自己志向的完全主義との関連の検討	齋藤路子	2008.11.27	2009.3.13
18-1-9	S-A-181E	ショートレポート	内的作業モデルの情報処理機能についての実験的検討	島義宏	2008.2.12	2009.3.16
18-1-10	S-134E	ショートレポート	大学生の持つ抑うつ傾向と攻撃性との関連	上野真弓	2008.9.8	2009.3.27

科研費出版助成金の受領についてのキャプションを掲載しなかったため、学振提出分のみ差し込みで対応した。

(2)「パーソナリティ研究」第18巻第2号以降の編集

現在の採択済論文は以下の11本、修正採択修正中の論文が5本。第18巻第2号は、9月末までに入稿、年内に発行する予定である。第18巻第3号は年内の入稿し、21年度内に発行できる予定である。

(3) 投稿・編集状況について

ここ1年間の投稿状況は以下のとおりである。

年	月	原著	資料	ショートレポート	展望他	合計	備考
2008	9	2	1	3	0	6	
	10	3	1	4	0	8	
	11	0	0	1	0	1	
	12	0	1	5	0	6	
2009	1	1	1	1	0	3	
	2	3	1	1	1	6	
	3	2	1	1	0	4	
	4	4	1	4	0	9	
	5	2	0	2	0	4	
	6	2	1	2	0	5	
	7	5	1	3	0	9	
	8	2	0	0	0	2	
	9	1	1	0	0	2	9月16日
合計		27	10	27	1	65	

ここ1年間の審査状況は以下のとおりである。

年月	採択	要修正再審査	不採択	投稿取下	備考
9	2	7	3	0	
10	3	9	3	0	
11	2	3	0	0	
12	3	13	2	2	
2009/1	7	9	0	0	
2	0	2	0	0	
3	3	8	2	2	
4	2	7	2	0	
5	1	8	2	2	
6	3	7	0	1	
7	4	7	5	0	
8	0	5	1	0	
9	2	8	2	1	9月16日
合計	32	93	22	8	

審査中の論文は46本である。

(4) 不採択・取下の状況について

不採択・取下となった論文が報告された。

(5) その他

1) 英文校閲の業者委託について

英文校閲を依頼している黒沢先生が体調を崩し、緊急に第18巻2号に限り、英文校閲を外部業者に委託する方向で検討している。1社からの見積もりはアブストラクト1本につき4000円であり、検討中である。第18巻3号以降については状況を見て改めて検討する。そのように進めることで承認された。

2) 編集委員の推薦について

11月の大会で現編集委員会から編集委員長、副編集委員長、常任編集委員3名、編集委員3名が退任するため、最大8名の編集委員を補充する必要がある。常任理事各位からも新編集委員の推薦を検討中である。

2 経常的研究交流委員会（北村常任理事）

(1) シンポジウムについて

表題は「パーソナリティを多面的にとらえる」

場所は7月25日（土）14時～16時30分、東北大学川内キャンパス（文学部第1講義室）で実施した。話題提供者は澤田匡人（宇都宮大学）、鈴木公啓（東洋大学）、荒木剛（東北大学）、指定討論者は堀毛一也（岩手大学）であった。

(2) 経常的研究交流委員会企画大会シンポジウム

1) 認知と感情、そしてパーソナリティ

司会：森津太子（放送大学）

話題提供者：堀内孝（岡山大学）

村上裕樹（名古屋大学）

青林唯（千葉大学）

指定討論者：杉森 伸吉（東京学芸大学）

2) 非言語コミュニケーションと個人差、パーソナリティ

司会：文野 洋（浜松学院大学）

話題提供者：上出寛子（大阪大学）

登張真稲（白百合女子大学）

山本恭子（神戸学院大学）

指定討論者：大坊郁夫（大阪大学）

3 広報委員会（荒川委員長）

(1) ウェブの更新について

10月に若手研究者紹介（守谷順）、パーソナリティ心理学と社会（小塩）

(2) 広報委員会主催大会関連企画

1) ヤングサイコロジストプログラム

主担当は阿部美帆である。

2) 高校生のためのパーソナリティ心理学

話題提供者 大和田智文(関西福祉大学) 若者の居場所とアイデンティティ、家島明彦(島根大学) マンガ・アニメとパーソナリティ、岩淵千明(川崎医療福祉大学) 「かしこさ」とは何か

4 国際交流委員会(小塩委員長)

(1) ARPのニュースレターの編集委員長が未定であり、今後どうなるのか不明である。

(2) 次々回大会(慶応大学)

イリノイ大学のロバツ氏に依頼をしており、大会と絡めて、企画を検討中である。

(3) マクアダムス氏と連絡をし、今年度中に原稿を入稿できる予定である。

5 大会活性化委員会(代理として理事長)

(1) 優秀大会発表賞の審査

昨年度同様の手続きで実施する(今年度はすべてポスター発表)。

審査委員は同様に、一次審査(編集委員)、二次審査(新旧の理事)を行う予定である。これから、審査依頼の手続きに移る。

6 選挙管理委員会(首藤委員長)

選挙を実施し、以下の通り決定した。詳細は最終ページに添付

理事・監事選挙	〳切	2009年7月15日(水)	
	開票	2009年7月25日(土)	11:00~17:00
理事長・常任理事選挙	〳切	2009年8月31日	
	開票	2009年9月3日(木)	16:00~18:30
	〃	2009年9月14日(月)	17:30~19:30
理事長	浮谷 秀一		
理事	青柳 肇	岡村 一成	
(50音順)	小塩 真司 (常任)	尾見 康博	
	川野 健治	坂元 章	
	佐藤 達哉	菅原 健介	
	菅原 ますみ	手島 茂樹	
	中村 真	二宮 克美 (常任)	
	藤田 圭一 (常任)	堀毛 一也 (常任)	
	松田 英子	向田 久美子(常任)	
	森 津太子	山崎 晴美 (常任)	
	渡邊 芳之 (常任)		
監事	岡田 努	松田浩平	

選挙手続きについて、新理事から意見が寄せられた。この件については、選挙管理委員長が対応することになった。選挙結果については、選挙管理委員長の名前で、会員メールを

用いて、早急に会員に報告し、かつ、ホームページにアップすることになった。

7 名簿電子化小委員会（北村委員長）

審議事項にて。

8 機関誌電子版高機能化と紙媒体廃止検討小委員会（松田委員）

（1）学会発行機関誌の状況

多くの学会で、機関誌を紙媒体として刊行する方法を維持しつつ、WEB による電子閲覧が可能な形式となっている。

（2）本学会における機関誌電子版導入に関する検討

1) 機関誌を電子版に一本化した場合のメリット

* 紙媒体廃止に伴う印刷費、郵送費が不要となる。オンライン化され、アクセス数、被引用文献数が増えると、文科省の補助金の増額が見込める。関連学会も含めた学术论文の参考文献情報と被引用文献の提供、登録した興味あるキーワードに関連する論文の送付、掲載新着状況の自動配信、マルチメディア対応サービス、関連学会の電子ジャーナル同士の相互リンク、速報性、学術雑誌や蔵書の保管・廃棄の問題をかかえている研究機関、図書館等に購入してもらう上で、省スペース化を促す紙媒体の廃止は大きなメリットになる

2) 機関誌を電子版に一本化した場合のデメリット

* 学会員としての求心力の低下、学会費による収入の減少

（3）提案

電子版への一本化に関する会員向けアンケートの実施が必要と思われる

日本心理学諸学会連合（杉山理事長）

特になし。

第 18 回大会準備状況について（寺崎大会準備委員長）

発表申込者数 99 名、参加者申込 140 名程度

大会日程および大会企画についての説明がなされた。

事務局報告（加藤事務局長）

（1）会勢報告

名誉会員 6 名、賛助会員 1 名、一般会員 552 名、院生会員 261 名、学生会員 4 名
計 824 名

新入会員：7 月下旬 13 名、8 月上旬 8 名

その他

審議事項

2008 年度決算・2009 年度予算案について（藤田常任理事）
2008 年度決算・2009 年度予算案ともに、細かな点を修正する条件で承認された。

理事・常任理事合同会議について（および総会次第）
川崎医療福祉大学にて開催される。

会員名簿作成について（北村委員長）
マイページから、会員の情報がどの程度可能であるのか報告された。新入会員について案内サービス（会則、編集規程、マイページの案内、理事長、常任理事一覧）をすることで、これまでの名簿に記載されていた情報が得られるようにし、紙媒体での会員名簿は廃止することが承認された。

第 92 回常任理事会議事録承認について
承認された。

新入会員について
入会希望者 5 名が承認された。退会希望者 1 名が承認された。

その他

- 1 福村出版の「性格心理学ハンドブック」の改訂版について（杉山）
改訂版の依頼が来ている。現理事長と次期理事長の話し合いでどのように対応するか決定することにした。
- 2 心理学検定委員の人選について（杉山）
浮谷委員が次期理事長に選出されたことから、心理学検定委員の選出時期・方法を次期理事長との話し合いで決定された。
- 3 その他なし

次回は 11 月 27 日川崎医療福祉大学の合同会議